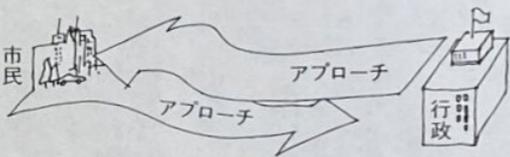


コミュニティへの期待

私たちがJCデパート特別委員会は、今年一年間この「ひびけこだま」の欄を利用して、三原市のいろいろなコミュニティと接して、特に活発な活動をしているコミュニティリーダーを紹介し、どの様な目的意識を持って、どの様な運動を起しているかという事を発表してゆきたいと考えています。

私たちの街はどのような要素で構成されているのか？ 私たちの街は全国の中で、どのような位置にあるのだろうか？ 私たちの街は他の街と比べて、どこが似ており、どこが違うのだろうか？ 私たちの街の特徴は？ 欠点は？ 私たちの街のあるべき姿はなにか？ などの研究分析されることになり。

社会的な個に目覚めた市民によるさまざまな参加の試みを通じて地方自治を再生させようとする方向を定めざるを得ない。三原市を客観的に把握し、それを基本にして、いろいろなコミュニティと接触討論してゆきたいと思いたい。



生命、健康あるいは財産確保といった生活上のものも基本的な要素に対する侵害もしくはその恐れを排除しようとする動きを排除してはなりません。この動きを運動へと展開してゆく事が社会変革を望み、市民運動へと発展させてゆきます。

三原市のコミュニティリーダーに、今後の活動を期待し、来月号からすばらしいコミュニティに限りない応援をお願いいたします。



郷土の文化 頼山陽落書堂 「西野四ツ堂」 この詩は、頼山陽が三原に四ツ堂を築き、この立派な書斎に、書いたもので、吟詠道入一仙、吟詠の香、花巻を作す、漸く梅影に到りて、時に指し、

頼山陽は、堅牢でたとえ取崩されても木端微塵になる事はない。これは漆の強度あるのだから、今後ともいふべきことだ。高野中氏は、漆の性質、麻布の支えがあるのだから、今後ともいふべきことだ。高野中氏は、漆の性質、麻布の支えがあるのだから、今後ともいふべきことだ。

頼山陽は、堅牢でたとえ取崩されても木端微塵になる事はない。これは漆の強度あるのだから、今後ともいふべきことだ。高野中氏は、漆の性質、麻布の支えがあるのだから、今後ともいふべきことだ。

今年もよろしく 三原JC 三原市青年会議所が三原市のマスタープラン、三原市のインテリゲンチヤ三原、を発表し五年を経過した現在、もう一度社会開発の原点に立ちかえり、「足元の社会開発運動」を展開し、三原のインテリゲンチヤ、三原の解剖及び経過、結果の発表をいたします。

三原市青年会議所が三原市のマスタープラン、三原市のインテリゲンチヤ三原、を発表し五年を経過した現在、もう一度社会開発の原点に立ちかえり、「足元の社会開発運動」を展開し、三原のインテリゲンチヤ、三原の解剖及び経過、結果の発表をいたします。

三原市青年会議所が三原市のマスタープラン、三原市のインテリゲンチヤ三原、を発表し五年を経過した現在、もう一度社会開発の原点に立ちかえり、「足元の社会開発運動」を展開し、三原のインテリゲンチヤ、三原の解剖及び経過、結果の発表をいたします。

佐々木印刷株式会社 TEL三原 (08486) 4-8965

正田文筆堂 事務器・文具総合センター 賀新年 謹賀新年

大建組 株式会社 事務所/三原市和田町6639 TEL(三原)代表 32524



やっせえ



発行/社 三原青年会議所 編集/広報委員会/三原市皆実町1331-1(三原商工会議所内) TEL(08486) 26155(代)

駅前再開発ビルの徹底的分析

今回は先月号に引き続き三原市にとつて大型プロジェクトであり、その中核をなす駅前再開発ビル、しかも駅前再開発ビルに焦点をあててその徹底的分析を試みてみた。以下そのレポートである。

駅前再開発事業 計画の概要

三原駅前第一種市街地再開発事業は、昭和四十七年四月建設の事業採択をうけて以来、早くも六年を経過した。その間、四十九年二月に都市計画決定が行なわれ、また、五十二年八月には事業計画の認可公告もよく得られた。(五十二年一月事業計画の認可公告が行われ、これにより三原駅前再開発事業の施行が確定された。)この結果、権利者に対する転出の申出期限は八月三十一日、九月一日が評価基準日となっている。

評価基準日の確定にともない権利変換計画の策定作業も進められ、権利変換、続いて着工も間近となっている。他方、五十二年八月事業計画認可公告の日をもって従来の準備審査会から正式な審査会の発足をみて、権利変換のための諸条件がいっつか決定された。以下、この過少床基準の決定、①権利変換基準の決定、②転出の(やむを得ない事情)の決定、③評価基準日の確定に伴う一点単位の時点修正等である。本来、再開発ビルは駅前地区は、交通拠点都市(瀬戸のインターアクション)としての三原の表玄関



中心とした建築物を配置し、東棟はショッピング、ホテル、金融機関の各機能を複合化したビルを建築する。ここで東西両棟の特色について

再開発ビルの 規模

三原駅(駅前橋)を結ぶ幹線道路(駅前通り)を軸とし、東西両側面に商業機能を配する。再開発ビルは、三原市がどのよう

再開発ビルは、三原市がどのよう

再開発ビルの 需要予測

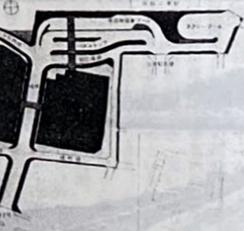
はじめに商圏の現状と再開発ビル完成後の比率を三原市がどのよう

再開発ビル完成後の比率を三原市がどのよう

再開発ビルの 業種構成

ここではSICとしての再開発ビルがどのような性格づけをしようとするのか、具体的に東西両棟を比較分析してみた。再開発ビル全体の性格づけとして、交通拠点都市、瀬戸のインターアクションの表玄関として、ここに集まる多くの市民、来訪者、観光客、人々を中心とした、三原商圏の広場を提供し、さらに、小

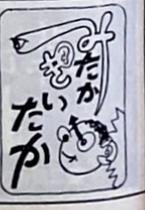
再開発ビル完成後の比率を三原市がどのよう



再開発ビル完成後の比率を三原市がどのよう

フロア階数	用途	面積	備考
7	駐車場	1,000	
6	水	1,000	
5	駐車場	1,000	
4	水	1,000	
3	水	1,000	
2	水	1,000	
1	水	1,000	

再開発ビル完成後の比率を三原市がどのよう





やすさいまつり



発行/社) 三原青年会議所 ■編集/広報委員会/三原市皆実町1331-1(三原商工会議所内) TEL.(08486) 6155(代)

やすらぎとふれあいを求めて

第3回 三原やすさい祭り 8月11日(金)12日(土)13日(日)

三原やすさい踊りは、四百有余年の伝統とともに、三原の地域文化として継承されてきました。それは、老若男女、やすさいのハヤシに合わせ、誰もが自由に参加し踊る人も見られるように加え踊る人も見られるように加え踊る人も見られるように加え踊る人も見られるように...

市民総参加の祭りに
やすさい祭り実行委員会
委員長 徳永修三

市民総参加の祭りに

第3回三原やすさい祭り行事予定

日	時間	内容	会場
8月11日	12時	三原やすさい踊り 三原市皆実町1331-1	三原商工会議所
8月11日	18時	やすさい踊り 三原市皆実町1331-1	三原商工会議所
8月12日	10時	やすさい踊り 三原市皆実町1331-1	三原商工会議所
8月12日	18時	やすさい踊り 三原市皆実町1331-1	三原商工会議所
8月13日	10時	やすさい踊り 三原市皆実町1331-1	三原商工会議所
8月13日	18時	やすさい踊り 三原市皆実町1331-1	三原商工会議所

第3回三原やすさい祭り振興協議会総会が、五月二十五日、三原商工会議所にて行なわれ今年度のやすさい祭りの計画が決まりました。

一九七八年
「ミスやすさいコンテスト」
審査期日 昭和53年7月22日(土)
13時30分
三原商工会議所 3階ホール
参加資格 (A)三原市の住居者であること。

表彰
ミスやすさい 1名
準ミスやすさい 2名
チャージング賞 2名
入賞者には表彰並びに副賞を授与する。

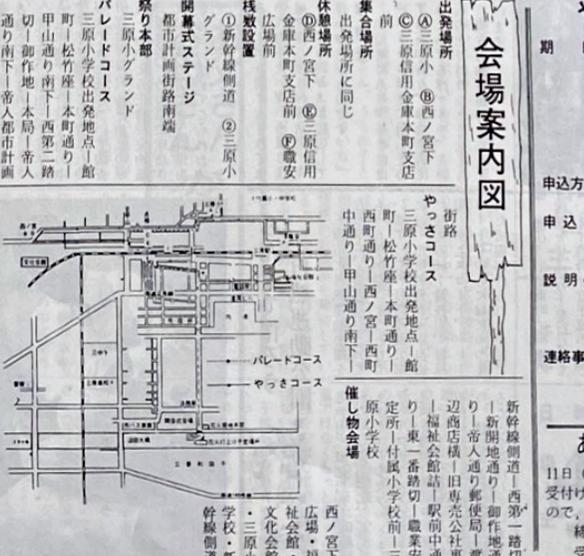
申込方法
所定の用紙に必要事項を記入、押印、最近の写真を(所定の枠以上の写真)を添えて申込み下さい。提出された写真は返却いたしません。

申込締切 (A)昭和53年7月10日(月)正午までとします。
(B)申込先 三原市皆実町一三三三原商工会議所内やすさい係 TEL 6155

記念はがき 賛助協力をお願い

製作者 内田皓夫氏
1セット200円

御希望の方は三原商工会議所やすさい事務局で受付けています。なお、各町内会にもお願いしてあります。



やすさい踊り実施要領

期日 やすさい踊り 8月12日(土) 19:00~22:00
8月13日(日) 19:00~22:00
子供やすさい踊り 8月13日(日) 17:00~20:00

申込方法 所定用紙に必要事項記入のうえ、7月10日(月)までに申込み下さい。

申込先 三原市皆実町 三原商工会議所 三原観光協会

三原市皆実町 三原商工会議所 三原観光協会
三原市皆実町 三原商工会議所 三原観光協会
三原市皆実町 三原商工会議所 三原観光協会
三原市皆実町 三原商工会議所 三原観光協会

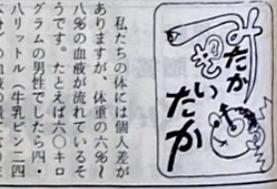
連絡事項 代表者は必ず出席して下さい。連絡その他不明の点は下記に連絡願います。三原市皆実町 三原商工会議所内 三原やすさい祭り実行委員会 TEL 08486-2-6155

あなたのグループもパレードに!!
11日(17:30~19:30)のパレードに参加のグループを受付けております。どのようなグループでも自由ですので、ふるって参加下さい。
締切 7月10日
受付 三原商工会議所やすさい事務局

他人のための献血が、自分の健康管理にもなるわけですから、誕生日にも結婚記念日などの記念日に毎年あなたも献血してはいかが?

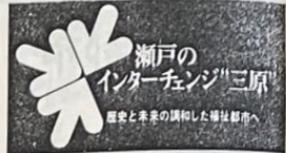
今年も七月「愛の血液助け合い運動」月間として、献血思想の普及運動が全国各地で実施されます。全国五百万人の献血者、それらも不足、献血量にいたっては全国二十一番目という献血活動、県内保健所管轄で三原は五番目。

輸血用血液は、〇〇%が献血で賄われています。誰か他人が困っているとき、健康な人が自分の血液を無償で提供する、困っている人を助けているのです。これほど尊い人間の行為はありません。献血は普通一回二〇〇ミリリットルですから、献血直後も構って休む必要もないくらいです。車の運転や仕事、入浴も飲酒等もふだん通りいっしょです。また多くの項目にわたって検査が行われます。また検査で異常が認められれば精密検査を必要とする人にのみ本人宛に秘密を守って通知されます。





やっさ



瀬戸の
インターチェンジ「三原」
歴史と未来の調和した福祉都市へ

■発行/(社)三原青年会議所 ■編集/広報委員会/三原市皆実町1331-1(三原商工会議所内) TEL.(08486)②6155(代)

第3回三原やっさ祭り ① ふれあう心……また来年も!! 8月11日12日13日 盛大に幕を閉じる



情熱と炎で燃える若者が
青春のページをとほりひら
ける三原ヤッサ祭り、三
月初め頃から各委員会に分
れての活動、努力と時間と
金、そして長い期間の打ち
合せ、一過り出来た、でも
よいよオーブニング、若者
は今日までの苦勞を忘れた
かのように目がしらを熱く
しながら指揮をとる。町の
アチコチで「よーよーたの
しー」来年もたのむでー」と
声をかけてくれる人、若者
はどう受けとめるだろう。
もうこんな苦しい長い祭り
との戦いはごめん、誰も
が口を揃えて言う。しかし
また来年が来る何と何食わぬ
顔で祭りに参加している。
それが青年であり、彼らの
青春でもある。『青春とは、
人生のある期間を言う
のではなく、心の様相を言
うのだ。すぐれた創造力、
逞しき意志、燃ゆる情熱、
揺さぶる心、安易をふり
捨てる冒険心、こういう様
相を青春と云うのだ。年を
重ねただけで人は老い、
理想を失うときはじめて
老いがくる。歳月は皮膚の
しわを増すが情熱を失うと
きに精神はしほな、苦悶や
狐疑や、不安、恐怖、失望、
こういうものこそあたかも
長年月の如く人を老いさせ、
精気ある魂をも奪い去るこ
に帰せしめてしまふ』と朝
日新聞に記載してあった。
まさに祭りとは、青春との
追いかけてゆくことであらう。
老いも若きも年輪を忘れ
苦難を忘れ、また来年も情
熱と炎で燃え続けることであらう。





やっせよ



発行/社) 三原青年会議所 ■編集/広報委員会/三原市皆実町1331-1 (三原商工会議所内) TEL (08486) ②6155(代)

市長を囲む座談会

「みづめえませんが、私達の町を」のテーマで私達(三原青年会議所)は、去る九月九日福祉会館に於いて多数の市民の方々の参加を得て市民討論会を開催しました。

三原市長は三原市に何を望み、又これからの三原の未来社会あり方、社会展望等について色々な御意見を伺いました。

それらの御意見のデータをもとに、(社)三原青年会議所の理事以下役員と、三原市役所より長尾市長、中山開発部長、竹之上秘書課長の出席を得て座談会を行いました。

地域活動について

JCI地域活動はなわちJCI活動として人間関係の構築を目的として活動を行いますが、私達は社会と人間との関わり合いを活動の中心として活動を行っており、その中心として活動を行っております。

また、JCI活動の場として活動しております。例えは、主要な財源である、ハガキという市民が作る祭りという意味で協力して活動しております。また、市民が作る祭りという意味で協力して活動しております。

施設・生活環境について

JCI最近三原運動公園の設計図を見させて頂きました。一度考えなければならぬ。その中には市民と市民との対話が少いのではないか。その対話が少いのではないか。その対話が少いのではないか。

また、JCI最近三原運動公園の設計図を見させて頂きました。一度考えなければならぬ。その中には市民と市民との対話が少いのではないか。その対話が少いのではないか。

市民意見について

JCI市民討論会での集計を見ますと、三原市の自然運動公園の早期実現を願う方が多いことが分かります。また、三原市の自然運動公園の早期実現を願う方が多いことが分かります。

また、三原市の自然運動公園の早期実現を願う方が多いことが分かります。また、三原市の自然運動公園の早期実現を願う方が多いことが分かります。

不足社会に育った人たちは

逆境の中でこそ気力、創造力に富んだ人間が育つとデニス・ケイパーは言っています。

戦後70年が過ぎようとして、物産の豊富な時代に生まれ、過保護の中で育てられた人々、気力体力も独創力もなく、人間の質からいって、職業倫理や生きがいを持つ合えない、いわゆる、無気力・無感動・無責任・無目的の四無主義のとりこになっている。

三原市自然運動公園の早期実現を願って

少年ソフトボール
少女フットキック
ベースボール

日時 53年10月22日(日曜日)
午前8時30分 試合開始

場所 宮浦町埋立地グラウンド

主催 三原市自然運動公園建設促進連盟

提言

① 三原青年会議所が、瀬戸のインターチェンジ三原のマスタープランを掲げ、やっせよ、やっせよ、三原の顔である。駅前再開発がスタートし、始めようとしている。

② 三原市役所が、三原市のマスタープランを掲げ、やっせよ、やっせよ、三原の顔である。駅前再開発がスタートし、始めようとしている。

提言

① 三原青年会議所が、瀬戸のインターチェンジ三原のマスタープランを掲げ、やっせよ、やっせよ、三原の顔である。駅前再開発がスタートし、始めようとしている。

② 三原市役所が、三原市のマスタープランを掲げ、やっせよ、やっせよ、三原の顔である。駅前再開発がスタートし、始めようとしている。

③ 三原市役所が、三原市のマスタープランを掲げ、やっせよ、やっせよ、三原の顔である。駅前再開発がスタートし、始めようとしている。

④ 三原市役所が、三原市のマスタープランを掲げ、やっせよ、やっせよ、三原の顔である。駅前再開発がスタートし、始めようとしている。

⑤ 三原市役所が、三原市のマスタープランを掲げ、やっせよ、やっせよ、三原の顔である。駅前再開発がスタートし、始めようとしている。

⑥ 三原市役所が、三原市のマスタープランを掲げ、やっせよ、やっせよ、三原の顔である。駅前再開発がスタートし、始めようとしている。

⑦ 三原市役所が、三原市のマスタープランを掲げ、やっせよ、やっせよ、三原の顔である。駅前再開発がスタートし、始めようとしている。

⑧ 三原市役所が、三原市のマスタープランを掲げ、やっせよ、やっせよ、三原の顔である。駅前再開発がスタートし、始めようとしている。

⑨ 三原市役所が、三原市のマスタープランを掲げ、やっせよ、やっせよ、三原の顔である。駅前再開発がスタートし、始めようとしている。

⑩ 三原市役所が、三原市のマスタープランを掲げ、やっせよ、やっせよ、三原の顔である。駅前再開発がスタートし、始めようとしている。

⑪ 三原市役所が、三原市のマスタープランを掲げ、やっせよ、やっせよ、三原の顔である。駅前再開発がスタートし、始めようとしている。

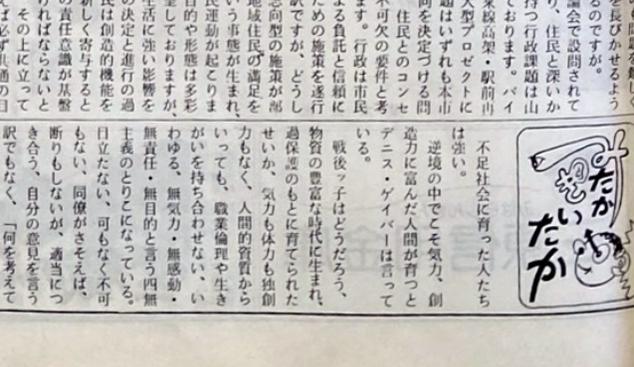
⑫ 三原市役所が、三原市のマスタープランを掲げ、やっせよ、やっせよ、三原の顔である。駅前再開発がスタートし、始めようとしている。

⑬ 三原市役所が、三原市のマスタープランを掲げ、やっせよ、やっせよ、三原の顔である。駅前再開発がスタートし、始めようとしている。

⑭ 三原市役所が、三原市のマスタープランを掲げ、やっせよ、やっせよ、三原の顔である。駅前再開発がスタートし、始めようとしている。

⑮ 三原市役所が、三原市のマスタープランを掲げ、やっせよ、やっせよ、三原の顔である。駅前再開発がスタートし、始めようとしている。

⑯ 三原市役所が、三原市のマスタープランを掲げ、やっせよ、やっせよ、三原の顔である。駅前再開発がスタートし、始めようとしている。





やっほー



■発行/ (社) 三原青年会議所 ■編集/ 広報委員会/ 三原市皆太町1331-1 (三原商工会議所内) TEL (08486) ②6155(代)

考えよう 三原バイパス

バイパス問題の歴史

三原市街の中心を横断する形で走っている国道三号線と、それを横断する市内主要道路の交差点がネックとなっており、市内の道路渋滞がひどく、最近では国道上で事故あるいは工事でもあり、下りは松永附近、上りは竹原附近まで国道二号線上は車のじゅうつなぎとなつてしまふ。この様な交通混雑を解消するために、事業施行者である建設省を中心として三原バイパスが計画されたのが、現在より約三十年前の昭和四十六年であった。

当初の計画案は、国道二号線の糸崎町の青木コ線橋附近から新倉町木之浜を結ぶルートで、建設計画も四十七年度から実施の着工、五十年開通とされていた。しかし計画発表後、ルート沿線の各地で公害、環境問題等による路線変更を求め運動が起り、計画案は修正された事となり、その後今日に至るまで修正案の発表はなされていない。

その間、三原市議会においてはバイパス建設促進に関する要請決議が行われ、三原商工会議所が中心となつて総論としてのバイパス建設促進と、署名運動も行なわれてきた。

根強い反対運動

現在、修正案の正式発表がなされないまま、予想ルートは種々の情報により

ある程度概略がつかまれている。予想ルートは一次案をできるかぎり山よりよせられたものとなり、やはり糸崎町から中之町・八坂町・西野町・榎町・新倉町を通り、延長約九・七キロメートルで中之町・榎町にインターチェンジがつかものとみられている。

一次案に比ベルトの修正の差が少なく、沿線住民の反対運動も依然続行されているが、その中で根強く反対を行つてきた三原市下住民協議会(中之町町内会)では、「私道は三原バイパス建設そのものに反対ではない」と前置きしながら、「公害のない三原バイパスを建設してほしい」と反対理由を次の様に説明している。

同会によると毎月市内六十数カ所で大気のごれ具を調査した結果、一日の自動車走行台数三万台の糸崎町と七千台余の中之町とで大気汚染にあまり差がない。それは中之町の清水橋附近と東高校附近が三百五十メートルとせまい谷間になり、町の周囲が二百メートル以上の山で取り囲まれて胃袋のような地形になっており、空気の流れが悪くよどみ、たまる様になっている。又、騒音は山々に反射して共鳴現象を起し、その被害が大きくなる。バイパスの高架やインターチェンジによって日照障害の問題も起ってくる。というように環境の悪化が中之町下住民協議会のバイパスルート変更を求めた理由である。同時に同会ではバイパスをこの様に通せば

いかと調査研究をして、山奥を通る案(尾道市吉和町三原市深町長谷町)と海岸沿いに高架を通る案(尾道バイパス吉和町山田海岸沿いに西進)と海沿いに通る案(尾道川の左岸沿い)を発表している。

そして、「我が方が発表した案より行政案の方が考えられない」という資料、根拠を示してはいる。それが現に納得できるものであれば、いつでも前向きに話し合いたい用意がある。」と述べている。

板ばさみの行政

これに対し住民側の立場にある行政当局は提案に対し、山側ルートについては山側自動車道の建設構想が検討されているが、山側自動車道は道路の延長から見て工事期間が相当長期にわたる見込みであり、部分供用についても取付道路の整備問題が絡んでくる。現在の国道二号線の交通渋滞を解消するような道路として早い時期にこれを整備することは無い。また、山側ルートは当道の通過交通の処理が可能なとしても従来の交通量推計と睨み合わせた場合、市街地中心部からの距離が離れすぎため、市街地内を走る自動車をできるだけ早くバイパスに乗せ、市街地の交通混雑を緩和するというバイパス機能を十分に果たせないことになる。

海側ルートについては、「海岸ルートの場合、海面を埋め立てて造成されたところになるが、海岸線は地質が非常に悪いため、技術的に非常に難しい工事費が極めて高額なものになり、経済効果の面で問題が多い。また狭い内港航路を横断する橋梁の建設が必要となるが、平面線形、縦断線形の両面から港機能を損ないよ



三原市街通り交差点

うに建設することは極めて困難である。さらに海岸ルートでは市街地からバイパスへ出入りするランプウェイの設置は構造的に無理であり、市街地からの発着に対しては効力を発揮できない。」と地元に対して説明しており、現段階では福祉施設等の代案と中之町清水橋附近を通した場合のメリット・デメリットについて地元住民・建設者・市の三者の間で都市計画としての道路の動線を通じて話し合いが継続中といったところである。

解決の糸口となるものは

これまでの事情からみて今後の見通しとして、短期間に解決することは難しいと予想されるが、現段階で解決したとしても約十年の間、市民は現在の交通混雑を我慢しなければならぬ。市民が納得するのは、まず、行政がどう対応して行くかである。

三原市が、町づくりの第一歩として考えねばならぬ時期に来ているのではないだろうか。

ある市民は言う。「バイパス問題は、三十年、五十年いや、それ以上の将来の三原市を真剣に考える土台ではなからうか。行政と沿線住民だけでなく、市民が責任を引き、議論し合つて、市民にとって最大の利益を考へるべきで、私道を作るだけでは良んでくれない。」と。

三原市は山と海に囲まれた豊かな土地と豊富な自然資源を有し、新幹線停車に伴つて交通の要となる街の将来としては発展へ大きな可能性を持っている。それを伸ばして行くには、私道市民が積極的に町づくりに参加し、行政がどう対応して行くかである。

三原市が、町づくりの第一歩として考えねばならぬ時期に来ているのではないだろうか。

三原JC「瀬戸のインターチェンジ三原」より

不連続の連続と言われる青年会議所運動も余すところなく、今年、全国津浦浦で展開される、社会と人間の開発から、明るい豊かな「社会」作りも次年度の新役員へと引き継がれようとしている。全国五万余名の会員が英知と勇気と情熱を持って只管行なう事業は、たとえ役員が変わるも継続され、より以上に改善されていく、そして又新しい事業へと挑戦されてゆく。

青年が専らと経済を語り、企業経営を語る。そして指導者としての、心を語る。一方、社会からの期待も、地域社会から期待される。その期待に報いる。そして人と人との関わり合いの中で自分を求め、成長して行く。指導者たるものとする姿勢のなかではなく、よりよき青年として現実に研鑽し、それが現在求められる指導者であり、青年会議所メンバーに課せられた問題である。

二十八年前を思い出し、十年、二十年後の「社会」を開発し、明るい豊かな「社会」を自指すためのノウハウを開発し、地域社会から期待される新しい指導者として、JCと言ってお話で自己研鑽し、社会へ貢献したいものである。

すでに来年へのプロگرامも出来上がり、意気揚々とされている先輩諸兄に心から惜しいない拍手を贈り、来年度の活躍を期待するものであります。

おわりに、一年間のコラム欄を築きお読みいただき感謝申し上げます。

